◆保育所給食の使用食材放射能検査について

角田市では、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射能の影響を心配される市民の皆様の不安に応えるため、保育所の給食の食材から数種類を選定し、月2回測定をしています。

測定器は、食品放射能測定システム(文部科学省認定 日立アロカメディカル社製 CAN-OSP-NAI)です。 下記の食材は、測定結果が基準値以下だったので給食に使用されています。

※1 検査機関 角田市

※2「検出限界値」とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても 検体ごとに検出限界値は変動します。たとえば、「不検出(検出限界値20)」とあるのは、検体において、検出できる 最小値が20Bq/kgであり、この食材の放射性物質濃度は「20Bq/kg未満である」ことを意味します。 この際、表記上では「不検出」となります。

【問い合わせ】子育て支援課(電話:63-0134)

測定日	食材名	産地	放射性セシウム	放射性セシウム
州仁山	政初石	连地	(ቲシウム134)	(セシウム137)
R6.4.23	小松菜	宮城県	不検出	不検出
	グルス米	白枫朱	(検出限界値11)	(検出限界値10)
R6.4.23	チンゲン菜	宮城県	不検出	不検出
NO.4.23	7777 *	白枞禾	(検出限界値9)	(検出限界値9)
R6.4.23	大根	千葉県	不検出	不検出
	入位	丁未 乐	(検出限界値10)	(検出限界値8)
R6.4.9	±420	호텔	不検出	不検出
	きゅうり	宮城県	(検出限界値10)	(検出限界値9)
			1	
			+	